

センター月だより

6月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・地区別指導活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	3	0	6	9
声かけ件数	325	81	210	616
指導参加者数	82	36	44	162

(指導日誌より)

多治見地区

- ・おりべストリートで高校生下校時の声かけをした。多治見工業高校生徒のさわやかな挨拶があった。
- ・R248号線を横断する田代町歩道橋や市民病院北歩道橋が腐食しているので市役所に連絡したところ、県に連絡するとの回答があった。手すりも低いのではと思う。
- ・小中学校が早帰りの日で雨天だったので、駐在所に行って地域および市内の現況を聞いた。多治見駅に集まる少年少女が多くなり問題となっているとのこと。5~6人集まっているところでは注意にとどめるようにとの対処方法も聞いた。(他の班も地域の交番に寄っているとの報告があります。交番やお店の方との情報交換は指導活動に大事なことです。これからもいろんなところで、いろんな方法で、情報交換を進めて行けると良いと思います。)
- ・多治見駅南側で喫煙していた少年たちに声をかけた。その後自由通路に行くともた喫煙していたため注意すると駅北側へ行っていなくなってしまった。その後、交番に連絡すると別の人からも通報があったと言われた。

瑞浪地区

- ・駅前にて3人乗りと2人乗りの自転車を見かけるが注意できず。
- ・高校生の集団に駅前で声かけするも無視、巡回中再び出会ったので再度声かけするも無視。機会をみて学校に連絡したい。
- ・ゲンキー稲津店の裏(北)側に、目のつきにくいたまり場になりやすい所がある。今後も注意していく。
- ・陶交番に林巡査が居られたので挨拶し、情報交換した。
- ・センターの新任研修に参加した指導員の感想・・・グループディスカッションは他地区の様子を知ることが出来て良かった。

土岐地区

- ・駅東駐輪場(地下道入口)に女子3名男子5名がたむろしていた。声が大きい。年齢を聞くと17、18才。
- ・下石陶史台にてノーヘルで自転車に乗った小学生1名に注意指導した。
- ・駅東駐輪場前に少年少女がたむろしていた。その内男子2名が喫煙していたので注意する。
- ・土岐市駅正面階段で高校生、少年少女が座り込んでいたので移動するように注意、しばらくして解散。

聞いてくれると話せる

そういうことって、ありますね。「なぜ話してくれなかったのか」と言われることがありますが、言われた方からすれば、「なぜ聞いてくれなかったのか」ということになります。

誰かに話すには勇気がいるとき、一言聞いてくれると話せるものです。すなわち、声かけを上手にすると、相手の心を引き出すことができます。

「生き方サプリメント101錠」 第3集より 多治見市教育長 村瀬 登志夫氏